

平成25年3月期 第2四半期連結決算説明資料

平成24年9月30日

(決算発表日:平成24年11月9日)

 **和弘食品株式会社**

2012年11月9日



証券コード 2813



本資料についてのご注意

当社は第1四半期連結会計期間より連結決算に移行したため、前第2四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。



平成25年3月期 第2四半期連結決算の総括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く欧州債務危機の影響や米国経済の回復遅れなどから、新興国経済の成長も鈍化し、輸出関連企業などの業績が悪化いたしました。また、東日本大震災の復興需要も盛り上がり欠け、景気は、大きく減速いたしました。

食品業界では、賃金や物価のデフレ圧力が継続し、低価格志向が定着するなか、震災需要の反動減に加え、春先に続いた低温傾向の影響で、夏物商品の出足が鈍り、さらに、9月には、全国的に記録的な残暑に見舞われ、秋・冬物商品の販売にも大きな悪影響を受け、厳しい状況が続きました。

こうした状況のもと、当社では、生産部門において、引き続き、カイゼン活動などに注力し、生産性と品質の向上を目指してまいりました。また、営業部門では、営業社員と商品開発スタッフの同行営業活動や展示会への参加などを積極的に行い、的確でスピーディーな商品開発、提案型営業活動による新規取引先の開拓に取り組んでまいりました。

また、今期は、今後、加速度的に少子高齢化、人口減少が進み、急速な縮小が予想される、わが国の食品市場において、中長期的に着実な成長を図るべく、競争力の強化に向け、様々な施策に取り組んでまいりました。

生産部門では、関東工場におきまして、製品倉庫の建て替えと本体建物の一部増改築工事を開始いたしました。これにより、さらに、衛生的な生産環境を整備し、生産性と品質の一層の向上を図り、本州方面の市場における生産体制を強化してまいります。

営業部門では、お客様の利便性の向上と組織的な営業力強化を目指し、営業支援システムの活用やインターネットを利用した新たな販売システムの構築、受注センターの設置などに取り組んでまいりました。また、当社の強みとする業務用ラーメンスープ拡販のため、付随して販売する業務用ガラスープなどの開発・販売体制の整備にも積極的な取り組みを行いました。

また、新市場の開拓を目指す米国子会社につきましては、現地で営業社員を採用し、輸出の拡大を図るとともに、開業準備に向けた調査を積極的に進めてまいりました。

以上のように、今期は、中長期的な視野に立ち、競争力強化と市場の拡大に向けた施策をスピーディーに実施し、早期に収益化を図るべく、取り組みを進めてまいりましたが、不順な天候の影響などから売上高が伸び悩むなか、製品倉庫の建て替えにともなう外部倉庫の保管料などで経費が増加し、利益が減少しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,764百万円、営業利益は1百万円、経常利益は13百万円、四半期純利益は0百万円となりました。

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|--------------|------------------------------|
| (資産の部) | |
| 流動資産 | |
| 1.現金及び預金 | 1,281,037 |
| 2.受取手形及び売掛金 | 970,347 |
| 3.たな卸資産 | 441,943 |
| 4.その他 | 74,197 |
| 貸倒引当金 | 298 |
| 流動資産合計 | 2,767,228 |
| 固定資産 | |
| 1.有形固定資産 | |
| (1)建物及び構築物 | 840,358 |
| (2)機械装置及び運搬具 | 250,847 |
| (3)土地 | 635,942 |
| (4)建設仮勘定 | 281,621 |
| (5)その他 | 214,542 |
| 有形固定資産合計 | 2,223,311 |
| 2.無形固定資産 | 16,925 |
| 3.投資その他の資産 | |
| (1)投資有価証券 | 142,317 |
| (2)その他 | 113,372 |
| 貸倒引当金 | 3,414 |
| 投資その他の資産合計 | 252,275 |
| 固定資産合計 | 2,492,512 |
| 繰延資産 | 24,443 |
| 資産合計 | 5,284,184 |

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-------------|------------------------------|
| (負債の部) | |
| 流動負債 | |
| 1.支払手形及び買掛金 | 675,921 |
| 2.リース債務 | 46,018 |
| 3.未払金 | 221,555 |
| 4.未払費用 | 13,507 |
| 5.未払法人税等 | 18,052 |
| 6.未払消費税等 | 5,093 |
| 7.預り金 | 7,019 |
| 8.賞与引当金 | 95,000 |
| 9.その他 | 365 |
| 流動負債合計 | 1,082,533 |
| 固定負債 | |
| 1.リース債務 | 144,169 |
| 2.役員退職慰労引当金 | 104,934 |
| 3.その他 | 1,860 |
| 固定負債合計 | 250,964 |
| 負債合計 | 1,333,500 |

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|------------------------------|
| (純資産の部) | |
| 株主資本 | |
| 1.資本金 | 1,413,796 |
| 2.資本剰余金 | |
| (1)資本準備金 | 1,376,542 |
| (2)その他資本剰余金 | 101 |
| 資本剰余金合計 | 1,376,644 |
| 3.利益剰余金 | |
| (1)利益準備金 | 95,956 |
| (2)その他利益剰余金 | 2,353 |
| 別途積立金 | 259,000 |
| 繰越利益剰余金 | 1,028,138 |
| 利益剰余金合計 | 1,385,447 |
| 4.自己株式 | 232,315 |
| 株主資本合計 | 3,943,573 |
| その他の包括利益累計額 | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,904 |
| 為替換算調整勘定 | 791 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,112 |
| 純資産合計 | 3,950,686 |
| 負債純資産合計 | 5,284,184 |

第2四半期連結損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 2,764,544 |
| 売上原価 | 2,138,548 |
| 売上総利益 | 625,996 |
| 販売費及び一般管理費 | 624,003 |
| 営業利益 | 1,992 |
| 営業外収益 | 13,611 |
| 営業外費用 | 2,366 |
| 経常利益 | 13,237 |
| 特別利益 | 155 |
| 特別損失 | 316 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 13,076 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,451 |
| 法人税等調整額 | 1,168 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 792 |
| 四半期純利益 | 792 |

第2四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 792 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,380 |
| 為替換算調整勘定 | 791 |
| その他の包括利益合計 | 3,171 |
| 四半期包括利益 | 2,378 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,378 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | |



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 区 分 | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|--------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,073 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 885,722 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 59,959 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 954,546 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,734,029 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 779,482 |



財政状態の分析

資産、負債、純資産の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産合計は5,284百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,281百万円、受取手形及び売掛金970百万円、たな卸資産441百万円、有形固定資産2,223百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,333百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金675百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,950百万円となりました。主な内訳は、資本金1,413百万円、資本剰余金1,376百万円、利益剰余金1,385百万円であります。



財政状態の分析

キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、779百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、前年同期との比較分析はおこなっておりません。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、8百万円となりました。これは主に、売上債権の増加127百万円と仕入債務の増加82百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、885百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出501百万円、有形固定資産の取得による支出348百万円によるものであります。

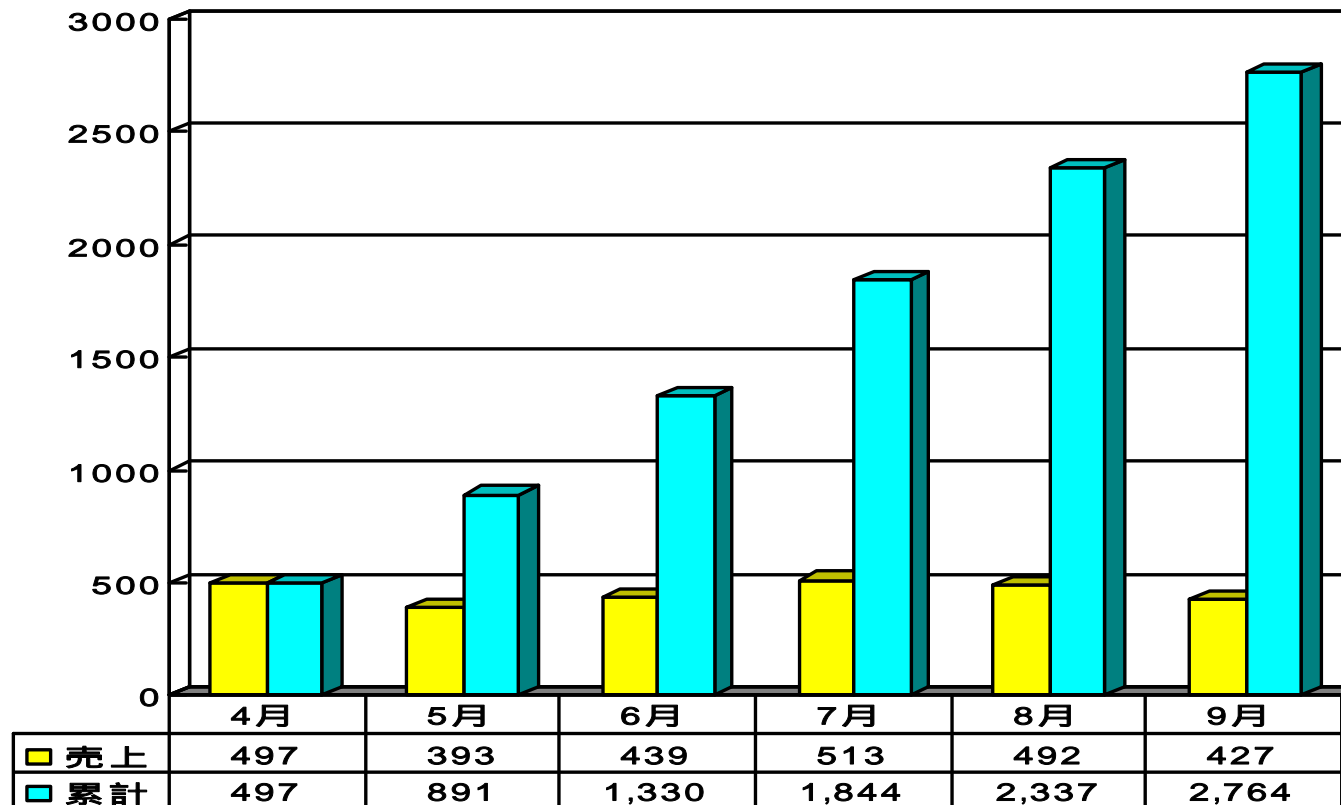
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、59百万円となりました。これはリース債務の返済による支払19百万円、配当金の支払40百万円によるものであります。

売上の推移

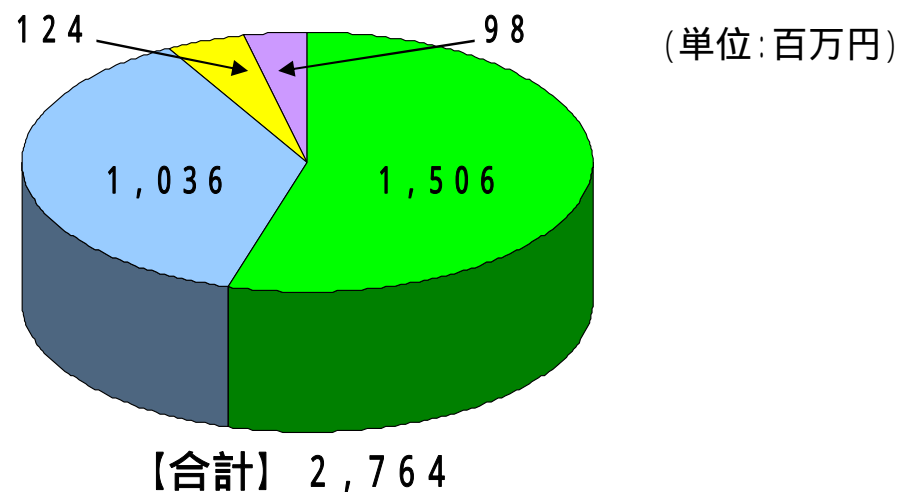
当第2四半期連結累計期間
平成24年4月～9月

(単位:百万円)



売上高構成比の比較

当第2四半期連結累計期間
平成24年4月～9月



- 別添用54.5%
- 業務用37.5%
- 天然エキス4.5%
- メンマ・かきあげ等その他 3.5%

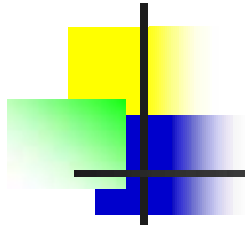


平成25年3月期の通期連結業績予想

(単位:百万円)

| 区 分 | 今期(予想) | 対前期 増減率(%) | 備 考 |
|--------------|--------|---------------|-----|
| 売上高 | 5,437 | - | |
| 売上原価 | 4,198 | - | |
| 売上総利益 | 1,239 | - | |
| 販売費及び一般管理費 | 1,166 | - | |
| 営業利益 | 73 | - | |
| 経常利益 | 90 | - | |
| 税引前当期純利益 | 87 | - | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 40 | - | |
| 当期純利益 | 47 | - | |

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



本資料に関するお問合せ

WS 和弘食品株式会社

広報・IR室

TEL: 0134 - 62 - 0505

E-mail: IR@wakoushokuhin.co.jp